

常陸大宮市史セミナー シリーズ講座その2

モノから見えてくる先史時代の暮らし

常陸大宮市史編さん事業の調査内容を広く皆さんに紹介するため、市史編さん専門部会の先生による市史セミナーを開講します。今回は、考古部会の先生を講師に招き、先史時代の考古資料に触れながら、その見方や解釈について学んでいきます。

第2回 縄文土器からわかる縄文人の暮らしと社会 —縄文時代中期を中心として—



縄文土器
坪井上遺跡（下村田）出土

【講師】

塚本 師也
(栃木県埋蔵文化財センター)

【日時】

令和元年12月14日(土)

土器作りの仕組みや縄文土器の文様について考えると同時に、縄文土器の型式を通し、当時の生活や地域間の交流について紹介していきます。

第3回(仮題)「弥生土器から読み解く弥生人の暮らし—弥生時代後期を中心として—」
鈴木 素行(常陸大宮市教育委員会) 令和2年4月以降を予定

- 【時間】午前10時～午前11時30分(午前9時30分開場)
【会場】常陸大宮市文化センターロゼホール 2階会議室
【受講料】無料
【定員】先着70名(あと20名ほど申込みが可能です)
【お申込み】①「広報お知らせ版」付属の申込用紙にてお申込みください。
②電話もしくはメールにてお申込みください。
【問合せ】常陸大宮市教育委員会文化スポーツ課 文化・スポーツG
TEL: 0295-52-1111(内線344) FAX: 0295-53-6502
メール: bunsupo@city.hitachiomiya.lg.jp

そうだ、
市史、
つくる。

写真: 坪井上遺跡全景(常陸大宮市三銃)

きりとり(FAXの場合はきりとり不要)

常陸大宮市史セミナー参加申込書

氏名(ふりがな)	住所	電話

※本申込書の個人情報については、目的以外に一切使用しません。